

令和4年6月 日

（名称）勝浦市地域公共交通活性化協議会

生活交通確保維持改善計画の名称									
勝浦市生活交通ネットワーク計画									
1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性									
<p>勝浦市内の公共交通は、広域幹線として市南部を東西にＪＲ外房線が通っており、北部及び東部に隣接する町との地域幹線として民間バス事業者によるバス路線が運行されている。これらの幹線系統が存在しない区域の公共交通を補完するため、平成１４年からコミュニティーバスが地域内フィーダー系統として運行されていたが、狭隘な道路事情と点在する交通需要を勘案し、平成２６年９月より予約制乗合タクシーの運行に移行された。</p> <p>上記の公共交通機関は、通勤、通学や通院、買い物等の市民の日常の足となり、生活交通手段として重要な役割を果たしている。</p> <p>これらの状況を踏まえ、公共交通空白地域等の解消と利用者要望を反映した公共交通体系の維持・改善ため、引き続き地域公共交通確保維持事業の活用による予約制乗合タクシーの運行等、生活交通手段の確保を行おうとするものである。</p>									
2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果									
(1) 事業の目標									
<p>予約制乗合タクシー</p> <table><tr><td>令和５年度</td><td>１日当たり乗車人数</td><td>１５．０人/日</td></tr><tr><td>令和６年度</td><td>１日当たり乗車人数</td><td>１５．０人/日</td></tr><tr><td>令和７年度</td><td>１日当たり乗車人数</td><td>１５．０人/日</td></tr></table>	令和５年度	１日当たり乗車人数	１５．０人/日	令和６年度	１日当たり乗車人数	１５．０人/日	令和７年度	１日当たり乗車人数	１５．０人/日
令和５年度	１日当たり乗車人数	１５．０人/日							
令和６年度	１日当たり乗車人数	１５．０人/日							
令和７年度	１日当たり乗車人数	１５．０人/日							
(2) 事業の効果									
<p>勝浦市の公共交通空白地域・公共交通不便地域を運行していた市民バスの車両では、きめ細かなルート設定がしにくく、山間地の狭い道路での走行も困難であったため、運行区域の延伸拡大による公共交通空白地域・公共交通不便地域の解消は難しかった。このため、予約制乗合タクシーを運行することにより、狭隘な道路を有する山間地域等も運行可能であり、分散している少需要に対応が可能となる。</p> <p>また、市街地商店街等へのアクセス性が向上し、買い物等を目的とする市民が増加することで、地域経済の活性化を図る。</p>									
3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体									
<ul style="list-style-type: none">・ 運行情報の広報掲載及び利用者・市民意見の聴取（勝浦市）・ 要請に応じた地元説明会の開催（勝浦市）・ 運転免許自主返納者への料金割引の実施（勝浦市・警察署・運行事業者）・ 目標を設定したキャンペーン等の実施の検討（勝浦市・運行事業者）									

4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者
別添の表1のとおり。
5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の負担者
委託料から運賃収入及び国庫補助金を差し引いた額を勝浦市が負担
6. 補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称
小湊鉄道株式会社
7. 補助を受けようとする手続きに係る利用状況等の継続的な測定方法 <u>【活性化法法定協議会を補助対象事業者とする場合のみ】</u>
※補助対象事業者が協議会ではないので記載せず
8. 別表1の補助対象事業の基準二ただし書に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要 <u>【地域間幹線系統のみ】</u>
※該当なし
9. 別表1の補助対象事業の基準ハに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」認めた市町村の一覧 <u>【地域間幹線系統のみ】</u>
※該当なし
10. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項 <u>【地域間幹線系統のみ】</u>
※該当なし
11. 外客来訪促進計画との整合性 <u>【外客来訪促進計画が策定されている場合のみ】</u>
※該当なし
12. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要 <u>【地域内フィーダー系統のみ】</u>
別添の表5のとおり。
13. 車両の取得に係る目的・必要性 <u>【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</u>
※該当なし
14. 車両の取得に係る定量的な目標・効果 <u>【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</u>
(1) 事業の目標

※該当なし
(2) 事業の効果
※該当なし
15. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体、要する費用の負担者【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
16. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策） 【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
17. 貨客混載の導入に係る目的・必要性 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
18. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
(1) 事業の目標
※該当なし
(2) 事業の効果
※該当なし
19. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
20. 協議会の開催状況と主な議論
<ul style="list-style-type: none"> ●令和3年6月29日 <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度予約制乗合タクシーの運行実績について ・令和4年度生活交通確保維持改善計画について ●令和3年11月18日 <ul style="list-style-type: none"> ・予約制乗合タクシー利用者アンケートの結果について ・勝浦市地域公共交通計画の策定について ●令和4年3月24日 <ul style="list-style-type: none"> ・市内公共交通におけるダイヤ改正等について ・予約制乗合タクシーにおける共通乗降場所の追加について ・地域公共交通計画策定業務に係る事業者選定について ●令和4年6月22日 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度予約制乗合タクシーの運行実績について ・令和4年度生活交通確保維持改善計画について（承認済み） ・地域公共交通計画策定について

21. 利用者等の意見の反映状況	
<p>予約制乗合タクシーの利用者アンケートの定期的な実施により、利用者意見の把握に努めるとともに、運行区域外の市民の意見にも耳を傾け、運行区域の拡大等について検討するなど、市内の様々な団体の参画による本協議会での協議を経て、市民ニーズの反映に努めている。</p> <p>令和4年度においては、地域公共交通計画の策定に係る地域公共交通調査事業の活用により、交通需要等に関する各種調査の実施を予定している。</p>	
22. 協議会メンバーの構成員	
関係都道府県	千葉県（千葉県総合企画部交通計画課企画調整班班長）
関係市区町村	勝浦市（副市長・都市建設課長・福祉課長・学校教育課長・高齢者支援課長）
交通事業者・交通施設管理者等	千葉県バス協会専務理事・千葉県タクシー協会常任理事外房支部長・東日本旅客鉄道(株)勝浦駅長・小湊鉄道(株)事業部部長・日東交通(株)鴨川営業所長・エミタスタクシー南総(株)取締役支配人・夷隅土木事務所所長・千葉県勝浦警察署交通課長
地方運輸局	関東運輸局千葉運輸支局首席運輸企画専門官
その他協議会が必要と認める者	小湊鉄道労働組合書記長・勝浦市区長会連絡協議会副会長・勝浦市民生委員児童委員協議会会長・勝浦市社会福祉協議会監事

【本計画に関する担当者・連絡先】

（住 所）千葉県勝浦市新官 1343-1

（所 属）企画課政策推進係

（氏 名）渡邊 友人

（電 話）0470-73-6654

（e-mail）seisaku-k@city-katsuura.jp

注意： 本様式はあくまで参考であり、補助要綱の要件を満たすものであれば、この様式によらなくても差し支えありません。

また、既存計画部分で生活交通確保維持改善計画の記載項目に合致する部分は、そこからの転記や、該当部分を明確にした上での添付などにより活用いただいて差し支えありません。

実際の計画作成に当たっては補助要綱等を踏まえて作成をお願いいたします。

各記載項目について、**地域公共交通計画及び地域公共交通利便増進実施計画**を作成している場合には、当該計画から該当部分を転記したり、別添〇〇計画△節のとおり、等として引用したりすることも可能です。（ただし、上記2.・3.については、**地域公共交通計画及び地域公共交通利便増進実施計画**に定める目標、当該目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項との整合性を図るようにして下さい。また、生活交通確保維持改善計画全体として、協議会における協議が整った上で提出される必要があります）。

外客来訪促進計画を作成している場合には、当該計画から該当部分を転記したり、別添〇〇計画△節のとおり、等として引用したりすることも可能です。

※該当のない項目は削除せず、「該当なし」と記載して下さい。